



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師 奏楽者 渡邊頼子師

讃美 主の祈り	新253	イエスの御腕に(★)	—	同
讃美 交祈 報告 聖書 説教 献金 頌祝	新247 詩篇 131:1~3 (コメントと祈り)	神の賜うけさは(★)	—	同
			司会者	同
			司会者	同
			司会者	同
			渡邊貞雄師	同
			小坂栄子姉	同
			(起立)	一同

★印 = 全節朗読

〒515-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

アブラムは主を信じた。それで、それが彼の義と認められた。

創世記 一五・六



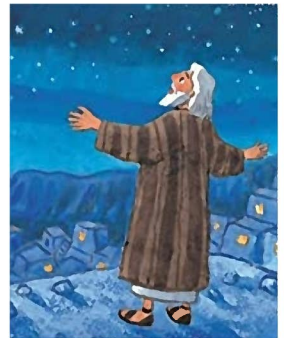
2020年6月28日 VOL. 43-26 No. 2278

URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 今朝は年の前半を締めくくる礼拝。今年のスローガン「松阪・チャ、チャ、チャ」、挑戦(チャ)レンジ、機会(チャ)ンス、勝者(チャ)ンピオン、を想起し後半に向かひましょう。
- ▼ 7月の「教会奉仕者表」が出来ました。ローテーションに多少の重複もありますが、ご奉仕のご協力をよろしくお願いいたします。
- ▼ 7月の「組会」は、しばらく様子を見てからのスタートとなります。

- ▼ 今週は、水曜夜(7/1)の祈禱会、土曜午前(7/4)の教会奉仕があります。
- ▼ 来週の礼拝は、聖書=創世記17:1~18:15、主題=「全能の神の祝福」、中心聖句=創世記17:1です。お祈りを。



にれ はみ

2020年6月21日
聖日礼拝
創世記14:1~24
「ロトの救出」
説教 渡邊貞雄師



ここは聖書での最初の戦争、アブラムが加担した最初で最後の戦争でした。

I、アブラムの出陣

ロト一族はソドム近郊におり（13:12）、やがてソドムに（14:12）、最後はソドムにどっぷりと浸かったその結果、戦争に巻き込まれた。

ソドムとゴモラは12年間も支配（搾取や屈辱）されていたが、13年目に反旗を翻した（3、4）。四人の王の連合軍は、1年後に大勢力を結集して襲って来て人と物を略奪して行った。アブラムは一人の逃亡者に助けを請われ（13）、精鋭部隊318人で救出に出発した。彼らは大勝利を収め全てを奪い返した。勝因は、①訓練された者たち ②家で生まれた者たち、③夜襲作戦で奇跡的な救出劇でした（15）。

II、アブラムの帰還

まずソドムの王が勝利の祝いに来たが、摂理の神はそれより先にメルキゼデクの来訪を許された（18~20）。

彼はパンとぶどう酒でお祝いした。また、いと高き神の祭司、正義の王、平和の王であった。更に、父もなく母もなく、系図もなく、その生涯の初め

もいのちの終わりもなく、神の子と似た者とされて、いつまでも祭司であると聖書に書いてある（ヘブル7:2~3）。まさに神の子のイエス・キリストの雛形とされる人物でした。

彼はいと高き神の存在と、強敵から勝利したのはこの神による（19、20）と知らされた。それで彼は自分の全財産の十分の一を捧げ礼拝した。

III、アブラムの勝利

ソドムの王は、財産はとっていいと語ったが（21~24）、アブラムはメルキゼデクの言葉を引用し、糸一本、履物の紐一本取らないと告白した（22）。神の栄光を横取りせずソドムの王を誇らせないためだった（23）。

真の勝利は、強敵4人の王に勝利したことだけではなく、アブラムの心の内にある自分を崇める高慢な心に勝利し、神に栄光を帰したことであった。後にアブラムは神から、「わたしの友」と呼ばれる者となった（Ⅱ歴代20:イザヤ41: ヤコブ2:）。

今日は「父の日」。父の責任は重く尊い。自分の栄光ではなく、神に栄光を返して誠実と愛で仕えていこう！